

連合せいぶニュース

2016.5 vol.18

発行:連合山口西部地域協議会

〒750-0001 下関市幸町 8-16 勤労福祉会館内

TEL 083-222-0869

FAX 083-223-9428

seibu@rengo-y.com

発行人 山中 守

編集者 吉村 美保

西部地協議長杯ゴルフ大会

西部地協は5月16日、プレジデントカントリー倶楽部山陽にて、第4回議長杯チャリティーゴルフコンペを開催しました。加盟組合、労働金庫、全労済、勤労福祉会館より72名の皆さんにご参加をいただきました。

当日はあいにくの荒天で、



▲あいにくの天気でした

土砂降りの雨の中でのプレーとなり、残念ながらハーフのみで終了となりました。

受付では原爆被爆者支援キャンペーンとして募金活動を行い、皆さんから多大なご協力をいただきました。今年は寄付先であるゆだ苑の坂本事務局長もお越しになり、募金を頂いた皆様お一人おひとりに直接お礼をされていました。集まった募金と参加費の半額を合わせた67,541円を、連合山口を通じてゆだ苑に寄付させていただきます。

ご協力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

熊本地震災害救援街頭募金

西部地協では、4月におきた熊本地震の災害救援キャンペーンとして、推薦市議、青年委員を中心に5月9日、30日の2度にわたってシーモール前で街頭募金活動を行いました。



▲5月9日



▲5月30日

ご協力ありがとうございました

中小企業労組討論集会



2月20日、勤労福祉会館にて、中小企業労組討論集会・春闘学習会を開催、24名が参加しました。

冒頭吉田議長からは、「中国の景気悪化のあおりで先行き不透明な状況にあるが、労使で十分な協議をして成果を上げてほしい。この集会が春闘勝利の一助になれば」との挨拶がありました。集会では連合山口富田副事務局長から連合白書や連合山口賃金労働条件調査などをもとに連合の春闘方針や取り巻く情勢を説明がありました。

各労組の意見交換では、会社の業績が厳しく、難しい春闘状況にあるという声が複数聞かれました。

続いての春闘学習会では、富田副事務局長より労働者保護ルールの改悪阻止や、年金運用の健全化など、連合が進める運動について説明いただきました。

集会終了後の懇親会では、参加者同士でより細やかな情報交換を行い、春闘勝利への機運を高めました。

青年委員会第9回総会

3月24日、西部地協青年委員会は下関市勤労福祉会館にて、第9回総会を開催、ご来賓の皆様や各単組の青年組合員42名が出席しました。はじめに主催者を代表して岡崎委員長より、次に来賓を代表して西部地協吉田議長より挨拶を受けたのち、2015年度活動報告と、2016年度活動方針・役員体制の決定を行いました。

今年度は、委員長・副委員長・事務局長の三役をはじめ7名の役員の交代が重

なり、島田委員長以下新たな顔ぶれでのスタートとなりました。

総会後に行われた懇親会では各単組の代議員に加え、来賓の方にも引き続きご参加をいただき、組合の壁を

越えた交流を図りました。

青年委員会は、これからも参加して良かったと思ってもらえる行事を企画していきたいと思っておりますので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



▲ 退任役員の皆さん



▲ 新年度役員の皆さん



高退連・西部 第6回会員間交流行事



▲ 参加者の皆さん

高退連西部は、5月16日、下関市勤労福祉会館体育館にて第6回会員間交流行事として室内グラウンドゴルフを開催、15名に参

加をいただきました。

天候はあいにくの大雨でしたが、室内競技ということもあり、無事開催することが出来ました。また、会場では熊本地震の救援募金を行い、多くの参加者の皆さんにご協力をいただきました。

今回も参加者の皆さんに準備から後片付けまでお手伝いいただいたおかげで、



▲ プレーの様子

大変スムーズに進行できました。

今後とも会員同士の交流を深められる行事を開催していきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

原爆被爆者支援カンパ

連合山口では平和運動の一環として、原爆被爆者援護、また核兵器廃絶運動の継承及び平和を求める運動を続けている山口県原爆被爆者支援センター「ゆだ苑」への支援を行っています。西部地協もこの方針に基づき、7月末まで支援カンパを実施しています。

みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

